

2025 年 6 月 13 日

株式会社 T2

**T2、自動運転トラックで国内最長となる神奈川ー神戸の約 500 キロ走破に初成功
拠点開発の本格化に向けて、神戸市との連携も開始**

自動運転トラックによる幹線輸送*1の実現を目指す株式会社 T2（本社：東京都千代田区、代表取締役 CEO：森本 成城、以下「T2」）はこのほど、神奈川県綾瀬市から兵庫県神戸市までの高速道路区間を走破*2する実証に初めて成功しました。距離は約 500 キロに達し、レベル 2*3自動運転トラックとして日本国内で最長*4となります。さらに、幹線輸送で必要となる拠点の開発を本格化させるため、神戸市との連携も開始しました。



T2 は、「2024 年問題」を背景にした物流危機に対応するため、2025 年 7 月からのレベル 2 自動運転トラックによる幹線輸送の事業化に向けて、現在、多様な業界をリードする企業各社との実証を推し進めています。事業化を目前に控える段階で、各社との実証でこれまで区間や環境を絞り込んで検証してきた自動運転技術の拡張性を確かめるべく、6 月上旬、神奈川県綾瀬市にある東名高速道路の綾瀬スマート IC から兵庫県神戸市にある阪神高速道路の魚崎出入口まで、自動運転で走行する実証を独自に実施し、走破に初めて成功しました。



神戸方面へ向かう T2 のトラック



レベル 2 自動運転（ドライバー乗車の上、手放し）の様子



T2 メンバー（神戸市「ポーアイおさい公園」にて）



T2 のトラック

本実証の距離は約 500 キロに達し、2024 年 12 月に実施した駿河湾沼津 SA（静岡県）から豊田東 JCT（愛知県）までの約 180 キロの記録を大幅に更新しました。さらに、夜間から明け方という視認性が悪い条件のもと、該当区間における自動運転率は 99%を達成しました。自動運転トラックの技術開発をめぐる海外勢が先行する中、T2 では、国内有数の人口を誇る神戸市までの走破は、日本でこの先、自動運転トラックを社会実装する過程において画期的な進展と位置付けています。



神戸走破の様子（動画）

T2 は、自動運転トラックによる幹線輸送を実現するため、これまで、GPS が利用できないトンネルをはじめ、坂道やカーブなど不安定な状況でも走行レーン内を安定して走らせる技術確立するとともに、各社との実証における多種多様な積載物・重量に耐えうる自動運転走行の達成、夜間や悪天候でも周辺の車両を正確に検出する精度の向上に努めてまいりました。この結果、これまでの累計走行距離は 25 年 1 月以来、6 万キロを超えています。

また最近では、さらなる技術開発にも挑戦しています。周辺車両が次々と走る間を自律的に判断した上で安全に車線変更できるようにしたほか、勾配や急カーブが存在する JCT を通過する際でも走行レーンから車体がはみ出ることなく安定して車両姿勢を制御する技術も開発しました。

T2 は今後、2025 年の事業化を経て、2027 年にはレベル 4^{*5} 自動運転トラックによる幹線輸送の開始を目指しており、これに向けて必要となる先進技術の開発を果敢に進めてまいります。



車線変更の様子（動画）



JCT 通過の様子（動画）

さらに今回の機会に合わせて、T2 は、神戸市との連携も開始しました。神戸市が整備中の「（仮称）神戸複合産業団地南地区産業団地」付近の市有地を活用し、自動運転トラックによる幹線輸送の実証で必要となる自動運転と有人運転の切り替えや車両の整備などにあたる拠点の開発を本格化させてまいります。

この度の連携開始について、神戸市都市局は、「神戸市では SDGs の推進に向け、持続可能なスマート産業団地の整備に取り組んでいます。自動運転トラックの幹線輸送サービスは、ドライバー不足などの物流課題の解決のみならず、温室効果ガスの排出抑制などにも寄与することから、神戸市としても高い関心を持っており、本連携を通じて、神戸市内における実証や西日本における幹線輸送サービス実装に向けた取り組みが進むことを期待しています」とコメントしています。



※イメージであり、今後変更となる場合があります



「（仮称）神戸複合産業団地南地区産業団地」のイメージと予定地（地図は Google マップ*6より）

- *1 工場で生産された商品を全国の配送拠点に主要な輸送ネットワークを通じて効率的に運ぶこと
- *2 ドライバーが乗車するレベル 2 自動運転で実施。安全確保が必要な状況や料金所、工事区間などではドライバーが一時的に運転操作
- *3 ドライバーの監視のもとに行われる特定条件下での高機能自動運転（参照：国土交通省資料 <https://www.mlit.go.jp/common/001226541.pdf>）
- *4 公開情報をもとにした T2 調べ（2025 年 6 月時点）
- *5 特定の走行環境条件を満たす限定された領域において、自動運行装置が運転操作の全部を代替する状態
- *6 Google LLC の商標または登録商標

【会社概要】

株式会社 T2

本社所在地：東京都千代田区内幸町二丁目 2 番 3 号 日比谷国際ビル 1 階

代表者：代表取締役 CEO 森本 成城

設立日：2022 年 8 月 30 日

事業内容：自動運転システムの開発、レベル 4 自動運転トラックによる幹線輸送サービス事業、幹線輸送に付随した関連サービス事業、その他関連サービス事業

企業サイト：<https://t2.auto/>

公式 X：https://x.com/t2_auto

【お問い合わせ先】

▼株式会社 T2 広報：pr@t2.auto

以 上